

第1期舟橋村総合戦略（平成27年度～令和元年度）

子育て共助のまちづくり：子育て世代の繋がりによる安心感をビジネスベースで構築することで転入と出生を増やす

子育てコミュニティ賃貸住宅 「積水ハウス」

- ・居住者に子育て支援のまちづくりの担い手としての役割を期待
- ・入居前に「クレド」による村コンセプトの確認
- ・県内ハウスメーカーによるコミュニティ勉強会
- ・プロポーザルによる業者選定
- ・令和元年10月供用開始

ICT子育て支援アプリ 「AsMama」

- ・子育て世代のコミュニティ醸成支援
- ・送迎、託児を地域で頼り合う子育てシェアママサポによる地域コミュニティイベントの実施(保険加入)
- ・アプリによるコミュニティ醸成実証実験実証実験実証実験
- ・プロポーザルによる業者



出生数の向上
(149人/5年間)



ICT

パークマネジメント 「金岡造園」

- ・園むすびプロジェクト
子ども公園部長による公園づくり
月イチ園むすびの開催
クラウドファンディングによるファンづくり
- ・国土交通大臣賞の受賞
- ・県内造園3団体、富山大学、村による覚書の締結
- ・新たな仕事づくりに向けた造園勉強会の開催
- ・プロポーザルによる業者選定
- ・仕事づくりに向けた伴走



公園



認定こども園



チーム

モデルエリア

★舟橋村に転入



子育て世代



子育て世代の転入促進
(40世帯/5年間)

エリアマネジメント協議会

- ・主体運営事業者、金融機関、富山大学、村で構成
- ・コミュニティによる支え合いを戦略的に生み出す
- ・自立自走に向けた運営体制の検討

認定こども園 「富山YMCA」

- ・民営化による認定こども園の整備
- ・病児・病後児保育の実施
- ・2歳児からの英会話の実施
- ・コミュニティづくり勉強会
- ・プロポーザルによる業者選定

子育て支援サポーター・リーダー 「AsMama」

- ・子育てボランティア「さくらんぼクラブ」による子育て世代の繋がるきっかけづくりイベントの開催（子育て支援センター週1イベント、駄菓子屋さくらんぼ）
- ・新たな子育て支援サポーターとして「ママサポーター」の誕生
- ・企業スポンサーや企業サポーターなどへのアプローチによるコミュニティビジネス創出（さくらんぼクラブによる文苑堂イベントの開催）
- ・地域住民交流イベント「ママテリア」の

★舟橋の地域課題をビジネスベースで解決
→それがローカル企業の新しいしごとに！

雇用創出



県内企業のしごとづくり
※地域の困り事をビジネスベースで解消する取組の実践
(1団体/5年間)

「第1期舟橋村総合戦略」数値目標の達成状況

➤「転入」、「繋がり」、「しごと」、「知名度」は達成、「出生」はほぼ計画どおり。

「舟橋村総合戦略」の数値目標

＜数値目標＞

＜目標1＞子育て世代等の転入を促進する

転入

子育て世代の転入世帯数

現状 (H25) 6世帯/年 → 目標 (H27~31) 8世帯/年 (40世帯/5年)

出生

出生数

現状 (H22~26) 29人/年 → 目標 (H27~31) 30人/年 (149人/5年)

繋がり

子育てに関わる人材数

現状 (H23) 30人 → 目標 (H31) 150人

しごと

子育て支援のCSV事業を実施した団体数

現状 (H27) 0団体/年 → 目標 (H27~31) 2団体/5年

知名度

自治体・民間企業などからの視察件数

現状 (H26) 0件/年 → 目標 (H27~31) 13件/5年

＜実績値＞

| 目標値 | 令和2年3月1日現在実績 | 評価 |
|----------------------|--------------|---|
| 8世帯/年 (40世帯/5年) | 131世帯 | ★達成 |
| 30人/年 (149人/5年) | 137人 | ●ほぼ計画通り 合計特殊出生率 H27:1.48 →H30:1.75 |
| 150人/5年 | 203人 | ★達成 |
| 2団体/5年 | 5団体 | ★達成 |
| 13件/5年 | 37件 | ★達成 |
| 3119人/2020年末 目標人口 | 3159人 | ★達成 |

令和2年度の取り組み～モデルエリアマネジメント・ICT

エリアマネジメント協議会

《エリアマネジメント事業者の役割》

・経営者勉強会

主体運営事業者の課題とモデルエリアにおける共通価値創出に向けた運営マニュアル作成

コミュニティを活用したビジネスモデル創出

第2期総合戦略(舟橋村)

- ・令和3年度から令和7年度
- ・エリアマネジメント協議会運営マニュアルを骨子とする。

地方創生推進交付金申請

- ・令和3年度からの事業交付金の獲得

賃貸住宅

モデル
エリア

認定
こども園

公園

村内・村外の多様な
プレイヤーの発掘・育成

子育て支援センター・さくらんぼくらぶ
若手農業者・ママサポ等

AsMama (ICTアプリ)

- ・地域コミュニティの形成
- ・地域リーダー発掘・育成
- ・コミュニティビジネス創出支援
- ・モデルエリア取組みの支援など

経営者勉強会

○目的:本勉強会の開催を通じて、自ら学び、実際に動くことのできる人づくり(PBL)を行うことでこれらを解消するとともに、参画事業者があらゆる運営主体と有機的に結びつき、新たな地域人材を発掘育成することで、魅力ある地域づくりを実現する。=コミュニティを活用したビジネスモデルをつくる。

| 項目 | 本日のねらい |
|--------------------------------|---|
| ①オリエンテーション | ・舟橋村の現状と課題を知る 勉強会の目的:主体運営事業者の自社課題と地域課題解決の産業創出計画の作成 |
| ②企業が取り組むコミュニティを知る | ・多くの企業が取り組むコミュニティづくり事例を知る ・企業がコミュニティ醸成に取り組む理由を考える |
| ③子育て世帯が求めるコミュニティを知り、その醸成方法を考える | ・子育て世代が集まるコミュニティを知る ・そのコミュニティを生み出す仕組みを考える |
| ④コミュニティが転入に繋がることを理解する | ・コミュニティと転入の因果関係を知る ・自社の役割を考える |
| ⑤CSVを考える | ・コミュニティで稼ぐとは ・共通価値を描く |
| ⑥地域にある運営主体との連携 | ・他社との連携 ・動く人、場の提供 |
| ⑦ワーク(演習) | |
| ⑧モデルエリア運営計画発表 | |